

日介支専協第1-0178号

令和元年10月7日

一般社団法人  
日本介護支援専門員協会  
各都道府県支部長 殿

一般社団法人  
日本介護支援専門員協会  
会長 柴口里則  
[公印省略]

令和元年度老人保健健康増進等事業  
「要介護高齢者等に対する看護介入の効果検証事業」  
ケア効果の可視化プロジェクト（VENUS）の調査協力について（お願い）

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より当協会の活動に対し、ご理解ご協力賜り厚く御礼申し上げます。

当協会では、令和元年度老人保健健康増進等事業「要介護高齢者等に対する看護介入の効果検証事業」（実施主体：東京大学大学院医学系研究科）に協力することとなりました。本調査は在宅療養中の高齢者およびご家族への在宅ケアの効果を可視化することを目的で行われます。詳細は、別紙のとおりです。

本調査の協力について、回答申込期日が令和元年10月21日（月）正午までのため、貴支部におかれましては、至急、会員の皆様への周知をお願い申し上げます。

なお、本事業には当協会から牧野和子副会長が委員として参画しております。

敬具

## 記

### 【協力依頼事項】

① 対象者の選定	④75 歳以上の利用者および家族、担当介護支援専門員 ⑤一事業所につき、利用者 5 名 ⑥主として以下のいずれかの疾患をもつ利用者 心不全、COPD、肺炎、脳血管疾患、がん、大腿骨頸部骨折、 神経難病、認知症
② 調査等について	1) 研究説明用の動画によりウェブアンケート等の調査方法 について説明。 2) 管理者（1 回）、担当介護支援専門員（4 回）のウェブアン ケート（ウェブ入力者の職種は不問）。 3) ウェブアンケートは、ほとんどがクリック形式のため、PC またはスマホで回答が可能。紙ベースでの回答をご希望 の場合は、別途対応可能。 4) 回答時間の目安は管理者 15 分/回、 介護支援専門員 15 分/回、利用者・家族 5 分/回。
③ 説明・同意の確認	利用者・家族への調査説明・同意の確認・調査票等の手渡し (資料は実施主体が作成予定)

### 【別紙資料】

別紙 1：居宅介護支援事業所管理者宛の依頼状

別紙 2：研究事業の説明書

別紙 3：FAX 返信フォーム

以上

一般社団法人日本介護支援専門員協会  
事務局 木村能子 担当：口野沙和・大室悠  
東京都千代田区神田小川町 1 丁目 11 番地 金子ビル 2 階  
TEL:03-3518-0777 FAX:03-3518-0778  
E-mail jigyouka@jcma.or.jp